

保護者アンケート(1学期)の結果と方策

A 90%以上　B 89～60% C 60%未満

評価対象	評価項目	教職員	保護者	方　　策
Ⅰ　保 護者等 との連 携	学校からの便りや、学校のWE B ページなどは、学校の様子が分かりやすいようになっていますか。	A	A	○引き続き、必要に応じて写真を掲載した学校・学年・保健だよりの発行、学校web ページの更新、メール配信を行います。 ○連絡帳の活用や迅速な電話連絡に努めていきます。
	学校の行事やP T A 活動などに参加していますか。	A	B	○学年だより等で、授業参観等の予定を早めに知らせ、学級の保護者の方に出席を呼びかけていきます。 ○懇談会の内容を工夫します。 ○学級懇談会に参加しやすいように、子ども預かりを継続して実施します。
	学校に、お子さんのことなどを相談しやすいですか。	A	B	○スクールカウンセラー等の相談体制を整え、周知、活用を進めます。 ○必要に応じて面談期間を設けるとともに、随時相談できることを、学年だより等で周知します。
Ⅱ　確 かな学 力	お子さんは、学習内容を理解していると思いますか。	A	B	○学習のめあてから始め、理解を助ける学習支援物を適宜使いながら分かる授業に努めます。 ○机間指導や助言等を行い自力解決がきるようにしていきます。 ○体験的な学習、問題解決な学習、高学年では教科担任制や少人数指導に取り組みます。
	お子さんは、基礎的基本的な学習内容を身に付いていると思いますか。	A	B	○復習テストや復習課題に取り組みせ、学習内容の定着を図ります。 ○朝の15分間(刮目時間)を活用し、基礎問題等に取り組みさせます。 ○引き続き漢字・計算大会を通して向上心を養い、基礎学力を身に付けさせます。
	お子さんは、自主学習や読書の習慣が身に付いていますか。	A	C	○家庭学習の目標時間の再確認、生活時間の中の学習時間の位置付けを図り、家庭学習の結果をカードにきちんと記入できるよう指導を重ねていきます。 ○家庭学習の取り組みをコピーして掲示したり、学級で紹介・称賛したりして家庭学習への関心を高めていきます。 ○家庭学習の強化週間を設定し、保護者と学校との連携のもとで家庭学習の取り組みを強化します。
Ⅲ　豊 かな心	お子さんは、あいさつや返事ができていますか。	A	B	○あいさつ運動の実施やあいさつ・返事の指導を積み重ねていきます。 ○道德の時間や学活であいさつの大切さについて考える機会を意識的に設けます。
	お子さんは、楽しく学校へ通っていますか。	A	A	○「Q-U」(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の結果を活用した、楽しく居心地の良い学級づくりに努めます。 ○団活動や小集団活動の体験を通して存在感や所属感を高めていきます。
	お子さんは、いじめがいけないことを理解し、いじめをみのがさないように努めていますか。	A	A	○いじめ等の問題行動の早期発見、個に応じたきめ細かな相談、情報の共有を組織的・継続的に取り組みます。 ○道德や学活の時間を活用し、いじめを許さない判断力のある学年・学級づくりに努めます。
	お子さんは、友達に対して優しく接していますか。	A	A	○道德教育の充実を図ります。 ○一人一人を大切にしたい思いやりのある学年・学級経営に努めます。 ○縦割りの団班活動を充実させます。
	お子さんは、学校の決まりが守れていますか。	A	A	○決まりが、何のためにあるのかを児童一人一人が気付けるよう指導します。 ○決まりをみんなが守っていることで、安心した学校生活が送れていることを伝えます。
	学校の生活指導は、適切だと思えますか。	A	A	○会議で共通理解を図り、学校として、統一した対応を取ります。 ○保護者との連絡を密にし、指導したことやその後の生活の様子について伝えていきます。
Ⅳ　心 身の健 康と体 力	お子さんは、規則正しい生活をしていますか。	A	B	○引き続き、授業や学校生活の中で規則正しい生活の大切さを伝えていきます。 ○朝食や睡眠の実態を数回把握し、保健だより等で状況をお知らせしていきます。
	お子さんは、積極的に運動をしていますか。	A	B	○感染防止対策に努めながら、休み時間にできる遊びや運動を紹介し、外で活動できる環境を整えます。 ○体育の時間を確保し、運動のポイントが理解できるよう支援していきます。
Ⅴ　安 全確 保・施 設整備	学校施設は、安全が保たれていると思えますか。	A	B	○毎月、校内施設の安全点検を実施します。 ○体育指導前、使用する器具等の点検を実施します。
	お子さんは、交通安全に気を付けていますか。	A	A	○学級活動や行事を通して、自分の命は自分で守ることの大切さを伝えます。 ○帰りの会では、「飛び出し事故」と「自転車事故」の防止についての指導を繰り返します。
	地域ぐるみで、子ども達の登下校の安全確保に努めていますか。	A	B	○下校指導の際、通学路の危険箇所や不審者対応についての話題を随時取り上げ安全意識を高めます。 ○PTAの校外生活委員会や地域の安全ボランティアの方と連携し、通学路の安全確保に努めていきます。
Ⅵ　進 路・生 き方	お子さんと将来の夢について話す機会を設けていますか。	B	B	○夢カードを記入する際に、学級で自分の好きなことや将来やってみたいものについて興味を持たせるよう支援していきます。 ○夢カードを活用し、保護者の方からの言葉を子どもたちにも読ませ、応援してもらっていることを味わい自己実現に向けて努力するよう支援をしていきます。
Ⅶ　組 織運営	学校支援ボランティアとして学校をサポートしていきたいと思っていますか。	A	B	○引き続き、必要な状況に応じて地域の方や支援団体等に対して協力を求めています。 ○保護者の方には、早めに依頼日時や内容をお知らせし、無理のない範囲でのサポートを依頼していきます。 ○外部人材の活用時は、コロナ禍での活用環境に注意して進めてまいります。